

びわぎんの取り組み

Reduce [リデュース] **エコオフィスづくり運動**

当行では平成13年度から「ノネクタイ運動」に取り組み、省エネに大きな成果を上げています。



環境掲示板 窓口に

省エネルギー推進

電力使用量の削減に努めています。

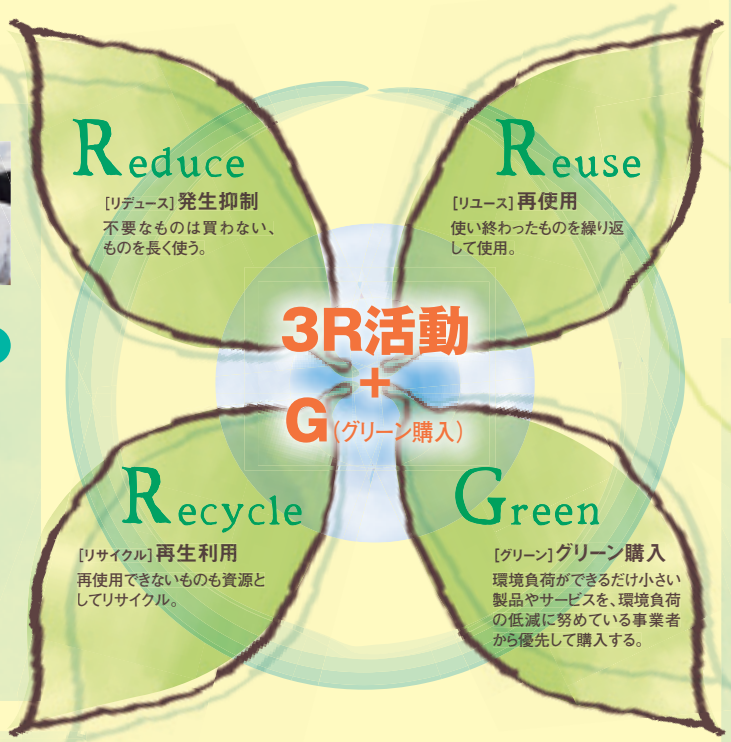
年度	本館 (kWh)	事務センター (kWh)
平成13年	193.3	73.3
平成16年	120.0	68.4
平成17年	152.6	71.8
平成18年	84.2	68.2
平成19年	163.9	67.9
平成20年	92.1	172.3
平成21年	165.3	104.4
平成22年	97.1	171.5
平成22年(目標)	165.0	-

関連URL (財)省エネルギーセンター <http://www.eccc.or.jp/>

雨水タンク「たまるくん」の設置後の反響

本店に、雨水を利用するためのリサイクルタンクを設置しています。洗車や花、植木への散水に活用するほか、地震など災害時における非常用水源の役割も果たします。

雨水タンクの見学(平成19年度 5団体 30名)



Reuse [リユース] **びわぎん事務機器リサイクル工房**

「びわぎん事務機器リサイクル工房」では各店から運ばれてくる事務機やイス、ロッカーなどを修理して再生します。

再生した事務機器は再び本支店で利用したり、福祉施設等に寄付するなどしています。

「リサイクル工房」で修理 ▶

Green [グリーン] **グリーン購入**

消費者として環境保全を支持し、事務用品や事務機器から低公害車まで、環境に配慮したグリーン購入を進めています。

バイオディーゼル車を導入 ▶

グリーン購入の推進

当行では、「グリーン購入基本方針」を制定し、事務用品から低公害車まで毎年購入物を見直しており、定期預金の証書もグリーン購入により対応しました。電算帳票用紙も、再生紙やFSC認証された紙類を使用しています。

- 主な取り組み項目
 - 事務用品、パンフレット類、銀行書類(伝票、お礼の帯封、証書など)、自動車、コピー機など

関連URL
グリーン購入ネットワーク(GPN) <http://www.gpn.jp/> 滋賀GPN <http://shigagpn.jp/>

グリーン購入率(本店)

年度	実績 (%)	目標 (%)
平成15年度	89.2	96.0
平成16年度	92.0	96.0
平成17年度	94.5	96.0
平成18年度	94.6	96.0
平成19年度	96.5	96.0
平成20年度	96.0	96.0

※グリーン購入とは・・・購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

Recycle [リサイクル] **「段ボール、シュレッダーゴミ」のリサイクル**

リサイクル処理したトレットペーパー1万ロールを滋賀県教育委員会を通じて、県立障害児教育諸学校(14校)に毎年寄贈しています。

リサイクルペーパーを1万ロール寄贈

リサイクル

- 機密関係書類は地元製紙会社にて溶解し、ダンボール素材にリサイクル
- シュレッダーゴミはトレットペーパーにリサイクル
- 廃蛍光灯を(年間約1,000本)建設資材等にリサイクル

【廃棄物(紙)リサイクル率】

年度	実績 (%)	目標 (%)
平成12年	13.4	3.4
平成14年	83.7	70.0
平成15年	87.0	88.2
平成16年	90.0	91.8
平成17年	92.0	94.4
平成18年	94.0	93.0
平成19年	94.7	94.0
平成20年	95.0	-

3R活動+G とは?

- **Reduce** [リデュース] 発生抑制
不要なものは買わない、ものを長く使う。
- **Reuse** [リユース] 再使用
使い終わったものを繰り返し使用。
- **Recycle** [リサイクル] 再生利用
再使用できないものも資源としてリサイクル。
- **Green** [グリーン] グリーン購入
環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努めている事業者から優先して購入する。

環境コミュニケーション

環境教育

当行では、啓発活動として環境セミナーを定期的に開催し、地球環境保全の重要性、環境マネジメントシステムの仕組み等について学習しています。また、毎年内部環境監査員を数名養成しています。

「地球環境保全セミナー」 「地球温暖化対策を企業活動に活かす」

～地球温暖化対策をビジネスとし成立させる発想～と題して開催。(平成20年3月) 講師:NPO法人 カーボンシンク(堤 幸一氏)

公開セミナー 「CSRマネジメントシステム基礎講座」を開催

経済産業省が予定する「マネジメントシステム規格認証制度における信頼性確保のためのガイドライン」発表や、国際規格「ISO 26000」の発行準備の進捗中、環境情報提供の一環として、「EMSからCSR」をコンセプトとした無料セミナー(3回シリーズ)を後援しました。(平成20年9月、10月、11月) 講師:ジャパンデバッグ(代表 黒澤 正一氏) [元・京都精華大学教授]

環境情報の提供

地域のエコリーダーバンクを目指す当行では、お取引先の皆さまに役立つ環境関連情報提供に努めています。

ホームページにも掲載中

- 「ディスクロージャー誌」
- 「環境報告書 環境保全・地域貢献から版」
- 「エコさん一家の日曜日」お子さま向け環境学習冊子 vol.9 「二酸化炭素を減らす工夫を考えよう」
- 「なるほどISO14001」 「びわぎん経済情報」
- 「びわこビジネスクラブ」 役立つ環境情報も充実しています。

地域貢献活動

長年続く地域清掃ボランティア活動

当行では、地域の清掃活動をはじめ、長年にわたり役員によるボランティア活動を地道に続けてきました。「ボランティア活動支援委員会」を設置し、ボランティア休暇制度をはじめとした支援制度を整え積極的に参加することにより、地域社会とのふれあいを大切にしています。

びわぎん緑と水の基金による助成

平成4年の設立以来、県内で緑化推進や水環境保全に取り組む自治会やNPOなどによる身近な地域の環境保全活動を見守り続けています。

【びわぎん緑と水の基金助成実績(累計)】

年度	緑化推進	水環境保全	自主事業	合計
平成6年3月末	-	-	-	1,846万円
平成9年3月末	-	-	-	4,780万円
平成17年3月末	-	-	-	8,718万円
平成18年3月末	-	-	-	8,912万円
平成19年3月末	-	-	-	9,115万円
平成20年3月末	-	-	-	9,339万円

スポーツ貢献

平成5年から始まった「びわ銀エコカップ手島杯学童野球大会」のほか、平成7年には「びわ銀エコカップ滋賀県中学生卓球大会」を創設し、これらのスポーツ大会に協賛しています。

当行は、スポーツ大会への協賛を通じて、湖国スポーツのレベルアップと子どもたちの健全な成長を願っています。中でも、学童野球大会は、後援先である滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの協力を得て、温暖化防止啓発活動や、参加者からもペットボトルキャップを集めてリサイクルし、平成20年度は大会を県内の野球イベントとしては先進的な取り組みとして関係者の協力を得て「カーボンオフセット大会」として開催いたしました。

～カーボン・オフセットの仕組みを取り入れた環境啓発型大会です～

びわ銀エコカップ手島杯学童野球大会

【びわ銀エコカップ手島杯学童野球大会の流れ】

青少年育成 野球大会

環境への取り組み ペットボトルキャップの回収

社会福祉 社会福祉施設へ寄贈

訓練・汚染の予防

当行(本店)では、「重油の油洩れ(給油時、貯蔵時)」、「ハロンガスの洩れ」等を緊急事態として特定し、定期的な手順のテストと緊急事態訓練を実施して、必要に応じた見直しを行っています。平成19年度の事故発生件数は0件でした。

また、当行における騒音の測定値は基準以下となっています。なお、平成19年度の環境関連クレームはありませんでした。

緊急事態訓練

PCBの管理

PCBを含む使用済みのコンデンサ、トランス、蛍光灯安定器などは、「PCB特別措置法」に基づき適切に保管・管理しています。

【PCB廃棄物保管状況】

種類	平成18年3月末	平成19年3月末	平成20年3月末
高圧コンデンサ	1台	1台	1台
蛍光灯安定器	130個	132個	140個

滋賀県内全店を「こども110番のおみせ」に

子どもの犯罪被害が増加し、社会問題化するなか、当行の県内各地の店舗網を、緊急避難場所である「こども110番のおみせ」とすることで、子どもたちが安心して行動できる地域社会づくりに貢献します。

【カーボンオフセットの取り組み】

従来の場合 試合で排出されるCO2を予測(測定) (約5.5トン)

27%削減

自動車での移動を工夫し、CO2を削減 4.0t

残ったCO2をカーボンオフセット。今回の排出権はインドにおけるバイオマス発電プロジェクトからの削減量です。コーディネーター:PEARカーボンオフセットイニシアティブ(松尾 直樹氏)

地球温暖化防止に向けて

—「STOP!地球温暖化」2010プラン



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

チーム・マイナス6%に参加

当行は政府が推進する「チーム・マイナス6%」に参加し、全店で地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。室温のきめ細かな設定（暖房20℃以下、冷房28℃以上）、空調機の運転時間の限定、アイドリング防止による排気ガス軽減啓発などにより、温室効果ガス削減に努めています。



COOL BIZ EXECUTIVES企画に協力

平成19年6月環境省が提唱する「COOL BIZ EXECUTIVES」企画に協力しました。本企画では、「チーム・マイナス6%」の趣旨に賛同し協力する企業・団体のトップクラスが、「クールビズ」スタイルで出演するビジュアルを作成し、多くの業界がこれに取り組んでいる姿を発信しており、当行頭取・山田督も参加しました。

「COOL BIZ EXECUTIVES」企画ポスター



事業所対抗「省エネ・レース」に参加

CO₂削減を競う第1回事業所対抗「省エネ・レース」に滋賀県下の本支店64か店が参加しました。

- 省エネ・レースとは：
電気・ガス・水道使用量の前年対比の削減率を競うレースです。削減率1位～3位に当行が入賞しました。

主催：滋賀県地球温暖化防止活動推進センター [(財)淡海環境保全財団]
URL <http://www.ohmi.or.jp/ondanka/>

写真：左より 重野センター長、優勝 長浜駅前支店長、2位 湖北支店長、3位 甲西駅前支店長



温室効果ガス(CO₂)排出量削減・推進

環境関連融資などを通じたCO₂削減をはじめ、環境マネジメントシステム運用による当行自身の環境負荷軽減と1975年から継続する苗木の寄贈により、2012年には2000年比32.1%のCO₂削減を目標としています。

【びわこ銀行「STOP!地球温暖化」プラン】

西暦	元号	温室効果ガス(CO ₂)排出量(ト)					1990年比(平成2年)削減率(%)	2000年比(平成12年)削減率(%)	2004年比(平成16年)削減率(%)	CO ₂ を吸収するのに必要な杉の本数(千本)(50年生/年)
		電力(本店)	都市ガス(本店)	重油(本店)	ガソリン(全店)	合計				
1990年	平成 2年	1,843	13	97	495	2,448	京都議定書基準年			
2000年	平成12年	937	16	82	485	1,520	37.9	ISO 14001取組開始	109	
2004年	平成16年	586	17	57	465	1,125	54.0	26.0	京都議定書発効	
2007年	平成19年	662	20	64	468	1,214	50.4	25.2	7.3	
2010年	平成22年	659	19	60	466	1,204	50.8	26.0	6.5	
2012年	平成24年	631	19	49	435	1,134	53.7	32.1	0.7	

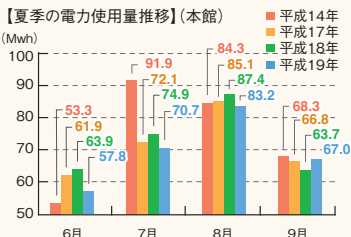
項目	内訳	施策・目標	2000年⇒2004年	2000年⇒2007年	2000年⇒2012年
			4年前対比	7年前対比	12年前対比
◆自らの環境負荷軽減	・電力使用量削減 ・都市ガス使用量削減 ・重油使用量削減 ・ガソリン使用量削減	・省エネ機器の設置、不要電気OFF ・省エネ型の厨房(料理) ・暖房時間厳守、温度管理の徹底 ・アイドリング防止、空ふかし防止キャンペーン	△368ト 24.2% 〔削減率〕	△332ト 21.8% 〔削減率〕	△386ト 25.3% 〔削減率〕
◆事業活動を通じた環境負荷軽減	[環境関連事業活動] 有益な環境側面によるCO ₂ 削減	・省エネ住宅(住宅性能表示) ・新エネルギーローン(太陽光発電) 目標:20軒以上/年間 (1軒のご家庭の電力使用量が平均3,500kWh(年間)とし、20%の削減効果があったとして試算)	△5ト	△323ト	△390ト
◆緑の森林づくり運動	・植樹による削減	・オートローン(エコライフプラン) 目標:5台以上/年間 (環境対応車と従来車との比較を試算)	△2ト	△2ト	△38ト
		・継続した植樹活動 ・11万本×14kg=1,540ト/年 (林野庁H・Pより50年生の杉の木が1年間に吸収するCO ₂ を植樹本数に換算した場合)	△1,540ト	△1,540ト	△1,540ト
		(環境関連事業+びわごん緑と水の基金) =有益・間接的なCO ₂ 削減	△1,547ト	△1,865ト	△1,968ト
		CO ₂ 期間中排出量/年間	1,127ト	1,214ト	1,135ト
		[地球上に排出するCO ₂]差し引き	△420ト	△651ト	△833ト

※温室効果ガス排出係数は滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例による

平成13年度から継続「クールビズ」「ノーネクタイ運動」

平成13年夏より夏季の省エネ対策として「びわこエコ・サマーキャンペーン」「ノーネクタイ運動」を全店において実施しています。

ノーネクタイの場合、体感温度は約2℃下がるとされ、夏場の省エネ効果を上げています。なお当行は、政府の軽装推進「クールビズ」にも賛同しています。



冷房温度チェック

1人、1日、1kgCO₂削減「チャレンジ宣言」全国第一号協賛企業

「チャレンジ宣言」全国第一号協賛企業として環境保全型オリジナル定期預金「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」を取り扱い、地球の温暖化防止に繋がる「1人、1日、1kgCO₂削減」にチャレンジされる方を対象に、定期預金の当初期間中に限り特別金利を適用し、お預かりした預金残高に依り一定割合を環境保全団体や活動に寄付しております。のべ1万人を超えるお客さまにご預金いただくヒット商品となっております。(詳しくは02ページで紹介しています。)

電子掲示板の利用

エコ・サマーキャンペーン「ノーネクタイ運動」のポスターを各店での紙の掲示をやめ、電子掲示板のお知らせに変更しております。



電子掲示板の設置

□ びわご環境保全活動のあゆみ

年月	内容	主催等
昭和50年	全国植樹祭開催(現 栗東市)を機に植樹活動を開始	
平成13年	ISO14001認証取得(第二地方銀行で初)	
平成19年6月	開催 「環境問題をお金の流れ(金融)から考える」NGO、NPO/企業環境政策提言、優秀提言紹介シンポジウム	環境省共催
	パネル参加 「COOLBIZEXECUTIVES企画」に頭取が参加	環境省、チームマイナス6%
	協賛 チームマイナス6%「1人、1日、1kgのCO ₂ 削減」応援キャンペーン、協賛企業第1号	環境省、チームマイナス6%
平成19年8月	発行 「環境エコマガジン」発行(3,000部)	
	イベント びわ銀エコカップ学童野球大会(エコカップに名称変更)	大津市軟式野球連盟
平成19年9月	環境商品発売 「CO ₂ ダイエットチャレンジ定期預金」発売	
	環境商品発売 パートナーローン「家庭版ESCOプラン」取扱開始	
平成19年10月	イベント 「地球温暖化防止inびわこ・くさつ」ブース出展(烏丸半島)	草津市
	グリーン購入アピール 「ヨシを100%使用した名刺を採用」	ココヨ工業滋賀
	講演 「IBMセミナー」 「環境と金融」講演	IBM(於:高槻)
平成20年2月	意見陳述 参議院「国際・地球温暖化問題に関する調査会」で頭取が報告	参議院
平成20年6月	パネラー参加 イズミヤ「未来企業研究会」にパネリストとして参加	イズミヤ総研
	環境省委託事業 「平成20年度エコポイント等CO ₂ 削減のための環境行動促進モデル事業」に「平成20年度滋賀県家庭版ESCO推進事業」運営主体として参画	環境省委託事業、滋賀県家庭版ESCO推進委員会
平成20年7月	金融業界、初認定 環境大臣より「エコファースト制度」業界のトップランナーとして環境先進企業に認定	環境省
	テレビ出演 テレビ東京「Newsモーニングサテライト」、銀行業界初の「エコファースト制度」認定企業として放送	テレビ東京
平成20年8月	スポーツイベント開催 第16回びわ銀エコカップ手島杯争奪学童野球大会(今回はカーボン・オフセット大会で開催、ペットボトルのキャップ約9万個を回収)	主催:大津軟式野球連盟 共催:びわこ銀行
平成20年9月	後援 「CSRマネジメントシステム基礎講座」3回シリーズ 講師:ジャパンデバップ代表、黒澤正一氏(元、京都精華大学教授)	主催:ジャパンデバップ 後援:びわこ銀行

□ 預金・貸金の概要

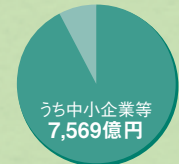
【預金(平成20年3月期)】

10,158億円



【融資(平成20年3月期)】

8,319億円



編集後記

当行では、「地球温暖化防止活動」を重要課題として、環境経営に取り組んでいます。環境関連商品の開発や環境改善への政策提言など、本年も環境保全・地域貢献報告書(かわら版)2008年度版を発行いたしました。「環境銀行」をはじめとする新しい取り組みを一人でも多くの皆さまに知っていただければ幸いです。ぜひ、ご意見・ご感想などをお寄せください。

(メールでのお問い合わせは、ホームページの「ご意見・ご質問」フォームをご利用ください。)

□ 環境報告書ガイドライン対応表

【2008年環境保全・地域貢献報告書と環境報告書ガイドライン2007年度版(環境省作成)との対比表】

項目	対応	頁	環境報告書への開示内容
環境報告書の全体構成			
(1) 基本的項目			
1. 経営責任者の緒言	○	2	頭取の「ごあいさつ」
2. 報告にあたっての基本的要件	-	8	当行の概要、報告書の対象範囲
2-1 報告の対象組織・期間・分野	○	8	対象組織・期間・分野を明示
2-2 報告対象組織の範囲と環境負荷の補足状況	○		
3. 事業の概況(経営指標を含む)	○	8	預金、貸金の推移
4. 環境報告の概要			
4-1 主な指標等の一覧	○	2~8	主要、環境負荷(有益)項目の指標を開示
4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	○	4	「環境目的および目標」
5. 事業活動のマテリアルバランス	△	2~8	自らの環境負荷、事業活動による環境負荷項目を開示
(2) 「環境マネジメント指標」			
6. 環境マネジメントの状況			
6-1 事業活動における環境配慮の方針	○	2~3	「環境銀行」取り組み
6-2 環境マネジメントシステムの状況	○	4~8	環境マネジメントシステム(具体的な取り組み状況を開示)
7. 環境に関する規制の遵守状況	○	5	環境コミュニケーション
8. 環境会計情報	△	3	損益計算書を開示
9. 環境に配慮した投融資の状況	○	2~3	環境関連定期預金、融資残高の推移
10. サプライチェーンマネジメント等の状況	○	2~3	CO ₂ がエレクトロニックな形態を、環境友好ローン、エコライフプラン等の取組
11. グリーン購入・調達状況	○	5~6	委託業者との連携による環境マネジメント活動の展開
12. 環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況	○	2~3	全職機能を活用した商品の開発(エコ関連預金、エコファド等)
13. 環境に配慮した輸送に関する状況	○	8	ガソリン消費量・燃費の推移を開示
14. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況(NEW)	○	2.6	工役職が「環境報告書」の発行、印刷に環境に配慮した紙(環境配慮紙、森林認証紙)を使用
15. 環境コミュニケーションの状況	○	5~6	汚染の予防、環境教育、環境情報提供等
16. 環境に関する社会貢献活動の状況	○	5~6	苗木寄贈、ボランティア活動、こども119番、トイレトパーパー寄贈
17. 環境負荷軽減に資する製品・サービスの状況	○	2.3	エコ関連定期預金、環境サポートローン、エコライフプラン
(3) 事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況			
18. 総エネルギー投入量及びその低減対策	○	5-8	電気使用量、環境マネジメントシステムのパフォーマンス
19. 総物質投入量及びその低減対策	-		該当無し
20. 水資源投入量及びその低減対策	○	8	グラフにて開示
21. 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	○	5~6	3R+G(グリーン購入)の取り組み
22. 総製品生産量又は総商品販売量	○	2.3	エコ関連定期預金、環境サポートローン、エコライフプラン取扱残高
23. 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	○	8	CO ₂ の排出量
24. 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	-		該当無し
25. 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	○	8	PCBの保管状況
26. 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	△	5-8	廃棄物(紙)の排出量/再資源化率を開示
27. 総排水量等及びその低減対策	-		該当無し
(4) 「環境配慮と経営との関連状況」を表す情報・指標			
28. 環境効率指標	2~8	2.6	環境効率指標として開示
(5) 「社会的取組の状況」を表す情報・指標			
29. 社会的取組の状況(労働安全衛生、人権、雇用、地域の文化、個人情報等)	△	2.5~6	環境関連定期預金による寄付、地域貢献活動等

※主な「社会的取組の状況」は当ディスクロージャー誌に掲載(ホームページにも掲載)

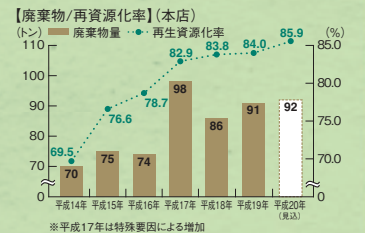
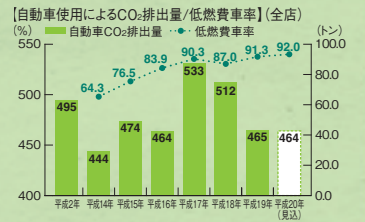
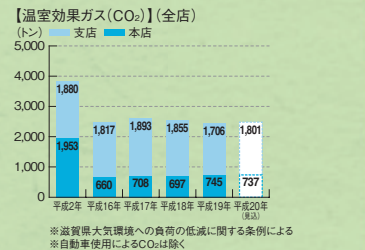
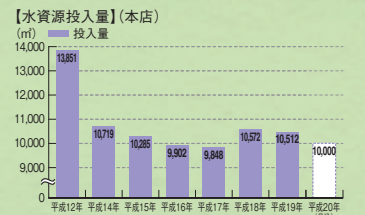
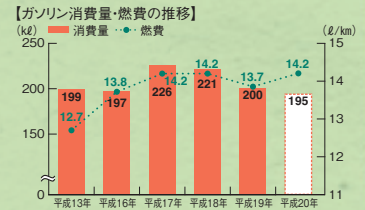
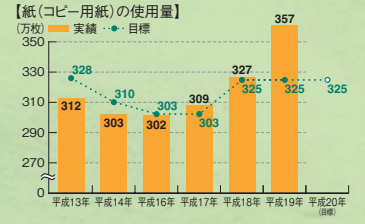
当行の概要

本店所在地 滋賀県大津市中央
四丁目5番12号

創業	昭和17年10月2日
総資産	1兆937億円
総金	1兆158億円
貸出金	8,319億円
資本金	280億円
店舗数	14 法人営業本部 9 ローンプラザ 64 支店・出張所
従業員数	879名

(平成20年3月31日現在)
※店舗数は平成20年10月15日現在

環境マネジメントの
パフォーマンス



報告書の
対象範囲

報告範囲は基本的に平成19年度(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の環境保全活動および環境パフォーマンス等としていますが、一部には複数年度事象も含めています。ISO環境マネジメントシステムの認証範囲は本店ですが、報告書に記載している環境保全活動の数値には銀行全体の活動内容も一部含まれています。

